

【施策評価調査】

施策名	1-5-4	浄化槽の普及	81	1 公共下水道事業認可区域及び農業集落排水事業区域(小規模処理区域)を除いた地域の生活環境の向上及び河川等の水質改善を目的とします。
		高根沢町地域経営計画2006 該当ページ		
担当部課	建設産業部上下水道課	担当 リーダー	業務管理担当 系井 鉄夫	2 公共下水道区域や農業集落排水事業区域以外の地域においては、住民の意向に沿った整備手法を検討しながら合併処理浄化槽の普及に努めます。
環境変化	従来、単独処理浄化槽についても浄化槽の定義に含めていましたが、平成12年6月改正により、浄化槽の定義を変更し、合併処理浄化槽のみを指すものとなりました。(単独処理浄化槽のみを浄化槽とし、合併処理浄化槽=浄化槽となる。)そのため合併処理浄化槽でも表現自体(普及するのは合併処理浄化槽のため)は問題ないが、浄化槽とは合併処理浄化槽のことを指しているため今後は言い方を浄化槽の普及とする。			

指標

施策の評価指標	基準値	年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度
指標：下水道・農集排水区域外地域の合併処理浄化槽設置数(基)	平成16年度末合併処理浄化槽設置基数 826基	計 画	1,000基	1,100基	1,200基	1,300基	1,400基
		実 績	996基	1,064基	1,129基		
指標：		計 画					
		実 績					
指標：		計 画					
		実 績					
指標に関する特記事項	指標は、国の循環型社会形成推進交付金事業(H18～H22年の5ヶ年計画)に合わせ、年間100基×5ヶ年(500基)の個人設置型の計画にそって、H22年度も100基を目標に施策を展開していきます。(平成18年度実績:100基、平成19年度実績:68基、平成20年度実績:65基)						

施策に係る事業費(傘下事務事業費計)の推移	年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度
	当 初	39,615,000	39,390,000	39,460,000	39,460,000	
	決 算	39,714,000	27,636,000	25,292,000		

事務事業事前評価 22年度の組立て

施策傘下事務事業	事業費	活動指標(アウトプット)	事業の実施によって、施策達成にどう貢献しますか？(アウトカム)			
浄化槽設置整備事業費	H21 現計 39,460,000	浄化槽設置数 100基	1 公共下水道事業認可区域及び農業集落排水事業区域(小規模処理区域)を除いた地域に浄化槽を普及させることにより、生活排水による公共用水域の水質汚濁を防止するとともに、良好な生活環境の向上が図られる。		今後の方向性 (総合評価)	条件付継続
	H22 計画 39,460,000					
	H21 現計				今後の方向性 (総合評価)	
	H22 計画				今後の方向性 (総合評価)	
	H21 現計				今後の方向性 (総合評価)	
	H22 計画				今後の方向性 (総合評価)	
	H21 現計				今後の方向性 (総合評価)	
	H22 計画				今後の方向性 (総合評価)	

施策事前評価 22年度の組立て

自己評価	後期計画に向けた施策展開のビジョン		H22年度の狙い
	今後の方向性 現状水準維持	国の循環型社会形成推進交付金事業を活用し、年間100基の個人設置型の計画を継続して進める。それと同時に、実設置数の把握・浄化槽へ変更していない管理者への普及啓発活動等を、広報たかなざわ及びHPを利用して実施する。 又、独自のパンフレット(A4)にて、設置と適正な維持管理の周知を図る。	
総合評価	継続的に施策展開がされていると評価する。 後期計画に向けて、成果指標の見直しを行うとともに、引き続き適切な普及活動や維持管理の指導等の効率化に努めることが望まれる。		